

2. 知的障害者（児）調査票

あなた自身のことについて、おたずねします

問1 あなたの性別、年齢についておたずねします。

(1) 性別	1. 男性	2. 女性
(2) 年齢	満 () 歳	

問2 あなたの生活費は、主に、次のどれによってまかなわれていますか。(○は1つだけ)

1. 自分の年金や手当	2. 自分の就労等による収入
3. 家族の年金や手当	4. 家族の就労等による収入
5. その他 ()	

問3 あなたの「療育手帳」の判定は、次のどれですか。(○は1つだけ)

1. A	2. A1	3. A2	4. A3
5. B	6. B1	7. B2	

問4 あなたが療育手帳の交付を受けたのは何歳のころですか。

満 () 歳のころ

問5 あなたは「身体障害者手帳」を持っていますか。

1. 持っていない 2. 持っている

問5-1 (身体障害者手帳を持っている方のみお答えください)「身体障害者手帳」による等級は次のどれですか。

等級の数字に○印 → 1 2 3 4 5 6 級

問5-2 (身体障害者手帳を持っている方のみお答えください) どのような障害(障害の部位)ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 視覚	2. 聴覚	3. 平衡機能
4. 音声・言語・そしゃく機能	5. 上肢	6. 下肢
7. 右または左上・下肢	8. 両上下肢	9. 体幹
10. 心臓	11. 腎臓	12. 呼吸器
13. ぼうこう	14. 直腸	15. 小腸
16. その他 ()		

く る め し
久留米市

じつたいちちようさ
保健福祉サービスニーズ・実態調査
(調査票B)

ちようさひよう
【ご協力をお願い】

白旗から久留米市の福祉向上にご協力をいただきまして、ありがとうございます。久留米市では、平成7年度に「第2次障害者福祉長期行動計画」を策定し、障害のある方が、地域で安心して生活できるように様々な取り組みを進めてきましたが、この計画を見直すこととなりました。

この調査は、計画見直しの実施資料とするため、市内にお住まいの療育手帳をお持ちの方(約500人)に、日常生活の状況やご要望などをお聞きする目的に行うものです。なお、この調査票にお名前を書く必要はなく、調査結果は「久留米市の障害者の〇〇%がこのような要望を持っている」というふうに、すべて統計的な処理にのみ使用します。したがって、あなたのお名前や回答の内容が他の人に知られることはありませんので、安心してお答えください。

お忙しいところお手数をかけたいと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

平成18年1月
く る め し ちようさ
久留米市長 江藤 守 國

記入にあたってのご注意

- この調査票は、できる限りあて名のご本人がお答えください。なお、あて名のご本人が18歳未満の方については、保護者の方にお答えいただく質問もありますので、ご注意ください。
- ご本人の回答や記入が難しい場合は、主にご介助されている方や、ご家族の方が、ご本人と相談したり、ご本人の立場にたってお答えください。
- 鉛筆またはボールペンでご記入ください。
- 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ごとり書きの指示に従ってお答えください。
- 調査票の記入が終わったら、1月20日まで、同封の返信用封筒に入れて、ポストに入れてください(住所やお名前を書く必要はありません)。

【調査に関するお問い合わせ先】
久留米市健康福祉部障害者福祉課
保健福祉サービスニーズ・実態調査担当

電 話 : 0942-30-9035
F A X : 0942-30-9752

問9 あなたの現在のお住まいは次のどれですか。(○は1つだけ)

1. 福祉施設 ⇒問10～13へ	⇒問14～17へ
2. 自分や家族の持ち家	
3. 民間の賃貸アパート・マンションなど	
4. 市営・県営住宅、公社・公団住宅	
5. 社宅や会社の寮、官公庁などの住宅	
6. グループホームなどの共同生活ができる住まい	
7. その他 ()	

問10から問13は、福祉施設に入所している方のみお答えください

問10 現在入所している施設の種類は次のどれですか。(○は1つだけ)

- 知的障害者更生施設
- 知的障害者授産施設
- 知的障害者福祉ホーム
- 知的障害者通所寮
- 知的障害児のための入所施設 (知的障害児施設、重症心身障害児施設など)
- 介護保険施設 (特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設)
- その他の高齢者向け施設 (養護老人ホーム、軽費老人ホームなど)
- その他 ()

問11 現在入所している施設での生活に満足していますか。(○は1つだけ)

- 満足
- どちらかといえば満足
- どちらかといえば不満
- 不満
- わからない

問12 あなたは、将来、どのように暮らしたいですか。(○は1つだけ)

- 今の施設で暮らし続けたい
- 別の福祉施設に移りたい
- 独立して一人で暮らしたい
- 家族や親族と暮らしたい
- グループホーム等で仲間と暮らしたい
- その他 ()
- わからない

問6 次の診断を受けたことがありますか。(○はあてはまるものすべて)

- ダウン症
- 自閉症
- 情緒障害
- 精神発達遅滞
- 脳性マヒ
- 小児マヒ
- てんかん
- その他 ()
- 診断はしていない

【40歳以上の方のみお答えください】
問7 介護保険の要介護認定を受けていますか。(○は1つだけ)

- 「要支援」と認定
- 「要介護1」と認定
- 「要介護2」と認定
- 「要介護3」と認定
- 「要介護4」と認定
- 「要介護5」と認定
- 要介護認定を受けて「非該当」になった
- 要介護認定は受けていない

生活状況についておたずねします

問8 あなたは、次のような動作が一人でできますか。①から⑩までのそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。※補装具を使用した状態でお答えください。

	一人でできる	1	2	3	4	アドバイスが あれば一人 でできる	アドバイスと 介助が必要	全面介助が 必要
①一人で食事をとることができますか	1	2	3	4				
②一人でトイレ(排泄)ができますか	1	2	3	4				
③一人で着替えができますか	1	2	3	4				
④一人で顔を洗えますか	1	2	3	4				
⑤一人で歯を磨けますか	1	2	3	4				
⑥一人で風呂に入れますか	1	2	3	4				
⑦一人で室内を移動できますか	1	2	3	4				
⑧一人で外出ができますか	1	2	3	4				
⑨一人で意思の伝達ができますか	1	2	3	4				
⑩一人で自分の考え等を文字で書くことができますか	1	2	3	4				

問13 あなたは、どのような条件が整えば、自宅や地域で生活できると思えますか。(〇は3つまで)

1. 星間の介護を頼める人がいること
2. 夜間の介護を頼める人がいること
3. 食事の心配をしなくていいこと (配食サービスがあるなど)
4. 掃除や洗濯等の家事の手伝いを頼める人がいること
5. デイサービスや共同作業所等に通えること
6. ショートステイなど緊急時に宿泊できるところがあること
7. ガイドヘルパーやリフト付自動車・寝台車等の外出支援のサービスがあること
8. 主治医や医療機関が近くにあること
9. 生活するのに十分な収入があること
10. 家族と同居できること
11. グループホーム等の仲間と共同生活できる場があること
12. 地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること
13. その他 ()
14. 特になし

問14 から問17は、福祉施設以外で生活されている方のみお答えください

問14 あなたは、現在、どなたと同居していますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 配偶者
2. 父母
3. 祖父母
4. 兄弟姉妹
5. 子ども・孫 (子ども・孫の配偶者含む)
6. その他の家族・親族
7. 家族以外の人
8. その他 ()
9. いらない (一人暮らし)

問15 あなたは身の回りの世話を、主にどなたに任せてもらっていますか。(〇は1つだけ)

1. 配偶者
2. 父母
3. 祖父母
4. 兄弟姉妹
5. 子ども・孫 (子ども・孫の配偶者含む)
6. その他の家族・親族
7. 家族以外の人
8. ホームヘルパー・家政婦など
9. ボランティアなど
10. その他 ()
11. 必要だが世話をしてくれる人がいない
12. 世話をしてもらう必要がない

問15-1 (問15で1～9のいずれかを選んだ方のみお答えください)身の回りの世話をしている方が、万が一病気や事故などで、一時的にお世話をすることができなくなったりとした場合、どうしますか。(〇は1つだけ)

1. 同居家族に頼む
2. 別居家族や隣せき(近所)に頼む
3. 友人・知人に頼む
4. 近所の人に頼む
5. ホームヘルパー等に頼む
6. ボランティアに頼む
7. 介助者を雇う
8. 施設(延滞入所)や病院に頼む
9. その他 ()
10. 特に考えていない
11. 必要がない

問16 現在の住まいで、使い勝手が悪いところや、改造したい(してほしい)ところがありますか。(〇はあてはまるものすべて)

1. 風呂の段差の解消(すべり止め、手すりの取り付け)
2. トイレの様式化、手すりの取り付け
3. 玄関の段差解消
4. 廊下や各部屋の段差解消
5. 畳や部屋の床をフローリング化
6. 洗面台や流し(調理台)を低くする
7. その他 ()
8. 特になし

問17 あなたは、将来、どのように暮らしたいですか。(〇は1つだけ)

1. 今の場所で暮らし続けたい
2. 福祉施設に入所したい
3. 独立して一人で暮らしたい
4. 別居している家族や親族と暮らしたい
5. グループホーム等で仲間と暮らしたい
6. その他 ()
7. わからない

就業についておたずねします

問18 あなたは現在仕事をしていますか。

1. 仕事をしている(接産施設・共同作業所等を含む) ⇒問18-1～4へ
2. 仕事をしていない ⇒問18-5へ

問18-1 (仕事をしている方のみお答えください) あなたはどのような仕事をしていますか。(○は1つだけ)

1. 農業・林業・漁業(家族従業を含む)
2. 商工・サービス自営(家族従業を含む)
3. 会社役員・団体役員など
4. 常雇い(正社員・正職員)
5. 臨時・パート・アルバイトなど
6. 授産施設・共同作業所など
7. その他()

問18-2 (仕事をしている方のみお答えください) 仕事はどのような方法で身につけましたか。(○は1つだけ)

1. 公共職業安定所(ハローワーク)
2. 学校の紹介
3. 病院や施設等からの紹介
4. 市役所等の行政からの紹介
5. 生涯支援センター(ピアくるめ等)
6. 障害者雇用支援センター
7. 新聞・雑誌の求人広告
8. 知人・縁故関係
9. 自分で探した
10. その他()
11. 自営などで探す必要がなかった

問18-3 (仕事をしている方のみお答えください) あなたが仕事で得る月収は平均しておよそいくらくらいですか。(○は1つだけ)

1. 1万円未満
2. 1~3万円未満
3. 3~7万円未満
4. 7~11万円未満
5. 11~15万円未満
6. 15~20万円未満
7. 20~30万円未満
8. 30万円以上

問18-4 (仕事をしている方のみお答えください) 仕事のことや悩んでいることや困っていることがありますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 収入が少ない
2. 通病や病氣・障害を理由に休みを取ることが難しい
3. 勤務時間の長さや時間帯が自分に合わない
4. 仕事の内容が自分に合わない
5. 仕事の内容が難しく、覚えるのがたいへん
6. 職場でのコミュニケーションがうまくとれない
7. 障害への理解が薄く、人間関係がむずかしい
8. 職場の設備が不十分で障害者にとって使いにくい
9. 職場までの通勤がたいへん
10. 障害がない人と比べて、仕事の内容や昇進などに差がある
11. その他()
12. 特にない

問18-5 (仕事をしていない方のみお答えください) 仕事をしていないのは、主にどのような理由によりますか。(○は1つだけ)

1. 在学中である
2. 家事をしている
3. 通勤手段はあるが、疾病・障害にあった仕事がない
4. 疾病・障害にあった通勤手段がない
5. 疾病・障害・高齢などで仕事ができない
6. 適当な仕事がない
7. 仕事をしようとは思わない
8. 求職中である
9. 職業訓練を行う機会がない
10. その他()
11. 特に理由はない

問19 (仕事をしている方もしていない方もお答えください)
 あなたが仕事をすすううえで、どのような条件整備が必要ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 勤務時間や日数の短縮
2. 通勤手段があること
3. 通院などの保障があること
4. 自宅で仕事ができること
5. 賃金が妥当であること
6. 障害にあった仕事であること
7. 職業訓練などで就労のための技術を身につけること
8. ※ジョブコーチ(職場適応援助者)など職場に慣れるまで援助してくれる制度があること
9. 勤務場所(障害者用の設備・機器が整っていること)
10. 周囲が自分を理解してくれること
11. 職場によい指導者や先輩がいること
12. 共同作業所や複遊施設など福祉的就労の場を確保すること
13. その他 ()
14. 特にない

※ジョブコーチ(職場適応援助者)とは、障害のある方の働いている職場へ付き添い、職場の中で人間関係や労働習慣の習得、コミュニケーションの仲立ちなどをお手伝いし、一人で仕事ができるまで手助けする指導員のことです。事業所の方に対する受け入れ体制整備等の助言も行います。

外出についておたずねします

問20 あなたは、ふだん、外出したいと思うところに、外出できていますか。※家族やガイドヘルパー等のつきそい(外出支援)が必要な方は、つきそいがある状態としてお答えください。(○は1つだけ)

1. できている
2. どちらかといえば、できている
3. どちらかといえば、できていない
4. できていない

問21 外出の時の移動手段は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

1. JR・電車
2. バス
3. タクシー
4. 自家用車
5. 自転車・バイク
6. 車いす
7. 徒歩
8. その他 ()

問22 外出するとき、あなたはどのようなことに不便や困難を感じる人が多いですか。(○は3つまで)

1. 歩道や建物に階段、段差が多い
2. 障害者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない
3. 車いすで利用できる交通機関が少ない
4. 駐車場が少ない
5. 障害者用トイレが少ない
6. 歩道や横断歩道などで危険を感じる
7. エレベーター、エスカレーターが設置されている施設が少ない
8. 道路に自転車などの障害物が多い
9. 付き添いをすすう人がいない
10. 困った時、まわりの人が助けてくれない
11. まわりの人の目が気になる
12. 外出に経費がかかりすぎる
13. その他 ()
14. 特にない

福祉サービスについておたずねします

問23 ①～⑩の福祉サービスについて、あてはまるものにそれぞれ1つだけ○をつけてください。また、①～④のサービスで、「1（現在利用している）」または「2（近いうちに13年以内くらい利用したい）」に○をつけた方は、その下の（ ）内に、利用している、または利用したいと望むサービス日数や時間数を記入してください。

	現在利用している	近いうちに6年以内くらい利用したい	将来、必要などきぎから利用したい	利用したいとは思わない・必要ない	わからない
【①～④の記入例】 ※「1」「2」に○をつけた方は、日数や時間数も記入してください	1 月(4)日	2 月()日	3	4	5
【⑤～⑩の記入例】	1	2	3	4	5
①ホームヘルパー等による介護や日常生活への支援(ホームヘルプ)	1 週()時間	2 週()時間	3	4	5
②外出時のつきそいや支援	1 月()日	2 月()日	3	4	5
③通いで訓練などを受けけるサービス(デイサービスやデイケア)	1 月()日	2 月()日	3	4	5
④施設に短期間入所するサービス(ショートステイ)	1 月()日	2 月()日	3	4	5
⑤グループホームやケアホーム等での共同生活	1	2	3	4	5
⑥福祉施設への入所	1	2	3	4	5
⑦生活自立のための訓練や支援	1	2	3	4	5
⑧働くための訓練や働き続けるための支援	1	2	3	4	5
⑨市役所や生活支援センター(ピアくるめ等)等の相談窓口	1	2	3	4	5
⑩日常生活用具の貸付	1	2	3	4	5

※ケアホーム：入浴や排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話を受けながら、日数で共同で生活する住まい。

	現在利用している	近いうちに6年以内くらい利用したい	将来、必要などきぎから利用したい	利用したいとは思わない・必要ない	わからない
①点字・朗読・手話等のコミュニケーション支援	1	2	3	4	5
②その他()	1	2	3	4	5

問24 障害がある方が、地域で自立して生活できるように、ご本人の意思に基づいて、福祉サービスの利用手続きや生活費・財産管理のお手伝いなどをする制度として、「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」があります。あなたはこのような制度や事業をご存知ですか。(○は1つだけ)

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、くわしくは知らない
3. 知らない

問25 「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」を利用したいと思いませんか。(○は1つだけ)

1. 利用している
2. すぐにも利用したい
3. 今が必要ないが、将来利用してみたい
4. 利用したくない
5. わからない

情報収集についておたずねします

問26 福祉サービスや福祉制度の情報をどこから得ていますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 市や県の窓口	2. 市や県の広報紙やチラシ、ホームページなど
3. 生活支援センター(ピアくるめ等)	4. 障害者相談員や民生委員・児童委員
5. 障害者団体	6. 家族や友人・知人
7. 入所・通所している福祉施設の職員	8. ボランティア等の福祉団体
9. ホームヘルパーや訪問看護師など	10. 病院・診療所・薬局など
11. 学校・職場	12. 新聞・雑誌
13. テレビ・ラジオ	14. インターネットやパソコン通信
15. その他()	16. 知らない

問30 地震や台風等の大きな災害が起きた場合、どのようなことが心配ですか。(○は3つまで)

1. 正確な情報がなかなか流れてこない
2. 救助を求めることができない
3. 救助を求めてもすぐ来てくれる人がいない
4. 安全なところで、すぐ避難することができない
5. まわりの人とのコミュニケーションがとれない
6. 被害状況や避難所の場所、物資の入手方法等がわからない
7. 避難所で障害にあった対応をしてもらえるか心配である
8. 必要な手が手に入らない、治療を受けられない
9. 補装具や日常生活用具が使えなくなる
10. 酸素ボンベや吸引器、人工呼吸器等が使えなくなる
11. その他 ()
12. 特にない

生活全般についておたずねします

問31 現在の生活の中で困っていることや、将来に対する不安・悩みなどはありますか。(○は3つまで)

1. 経済的な不安
2. 障害や健康上の心配、悩み
3. 住まいの不満、悩み
4. 仕事の不満または働く場がない
5. 結婚問題の不安、悩み
6. 友達がいない
7. 家庭内の問題
8. 将来の生活が不安
9. 周囲の人の理解がない
10. 身辺の世話がかかる
11. 通院、通勤、通学が困難
12. 生きがいを見いだせない
13. 財産の管理が心配
14. その他 ()
15. 特にない

問32 生活の中で困っていることや、将来に対する不安や悩みを誰(どこ)に相談していただけますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 市や県等の職員
2. 生活支援センター(ピアくるめ等)の職員等
3. 障害者相談員や民生委員・児童委員
4. 障害者団体
5. 家族
6. 友人・知人・近所の人
7. ボランティア等の福祉団体
8. 入所・通所している福祉施設の職員
9. ホームヘルパーや訪問看護師など
10. 病院・診療所の医師や看護師など
11. 学校・職場の関係者
12. その他 ()
13. 相談する人がいない

問27 福祉に関する情報を十分に入手できていますか。(○は1つだけ)

1. 十分
2. どちらかといえば十分
3. 普通
4. どちらかといえば不十分
5. 不十分
6. わからない

問28 家族や職場などでインターネットを利用することがありますか。(○はあてはまるものすべて)

1. パソコンで利用している
2. 携帯電話で利用している
3. インターネット対応の一般電話で利用している
4. 利用しない

問28-1 (問28で1~3のいずれかを選んだ方のみお答えください) インターネットをどのようなことに利用していますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 電子メールの送受信
2. 生活や趣味、仕事等に関する情報収集
3. チャットや掲示板等への参加
4. 電子商取引(買い物や銀行取引など)
5. ホームページ作成
6. その他 ()

災害対策についておたずねします

問29 地震や台風等の大きな災害が起きた場合に、安全の確保などで頼れる人が身近にいますか。

1. いる
2. いない

問29-1 (問29で「1.いる」と答えた方のみお答えください)それはどなたですか。(○はあてはまるものすべて)

1. 同居の家族
2. 近所の別居家族や親戚
3. 近所の友人・知人
4. 民生委員・児童委員
5. 施設の職員や仲間
6. その他 ()

問33 あなたは、ふだん地域の方とどのようなおつきあいをしていますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 会えばあいさつしあう程度
2. 世間話をする
3. 一緒に遊んだり、出かけたりする
4. 自治会などの地域活動と一緒に参加する
5. 盆踊りや祭りなどの行事と一緒に楽しむ
6. サークルなどで趣味やスポーツの活動と一緒に楽しむ
7. 学校や職場の行事と一緒に参加する
8. 入所・通所している施設の行事等で交流する
9. その他 ()
10. つきあいはしていない

問34 あなたが地域の行事や活動に参加しようとした場合、そのさまたげとなことはありますか。(○はあてはまるものすべて)

1. どのような活動が行われているか知らない
2. 費用や手間がかかりすぎる
3. 気軽に参加できる活動が少ない
4. 一緒に活動する友人・仲間が少ない
5. 家庭の事情がある(病人がいる、家事・仕事等との都合が難しい)
6. 活動場所が近くにない、移動手段がない
7. 健康や体力に自信がない
8. コミュニケーションが難しい
9. 周囲の理解がない
10. 参加したくなるようなものがない
11. 参加したいが誘ってもらえない
12. 過去に参加したが期待はずれだった
13. その他 ()
14. 特になし
15. 参加しようとは思わない

問35 あなたはこれまでどのような差別的な扱いを受けたり、いやな思いをしたことがありますか。(○はあてはまるものすべて)

1. 病院などで診察を断られたこと
2. 県や市などの行政に相談に行ったとき、あなたの話をきちんと聞いてくれなかったこと
3. 就学相談に行った時、障害同学校に通学するように強く指導されたこと
4. 障害を理由とした不採用や解雇
5. 職場の上司や同僚からの不当な扱い
6. ホームヘルパーやガイドヘルパーなどの対応で不愉快な思いをしたこと
7. 入所・通所している施設の職員の見返りで不愉快な思いをしたこと
8. バス停や駅の構内で駅員の一方的な誘導や指示にあったこと
9. バス、電車、タクシーなどの乗車拒否にあったこと
10. 家を借りる時に不動産業者や家主に断られたこと
11. 遊園地の乗り物に乗ることを拒否されたこと
12. ホテル・旅館、公衆浴場、飲食店などを利用することを断られたこと
13. 住んでいる家の周りの人達から、差別的な扱いをされたこと
14. その他 ()
15. 特になし

福祉全般についておたずねします

問36 「障害がある人もない人も、ともに生きていくことができる社会こそ普通の社会である。障害がある人も職場と一緒に働いたり、地域活動やいろいろな催し物にもともに参加し、行動できるような社会にすべきである。」という考え方を一般に『ノーマライゼーション』と呼びます。久留米市は、この『ノーマライゼーション』の考え方を活かしたまちづくりをしていると思いませんか。(○は1つだけ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問37 今後、障害がある人の自立と福祉の向上のための支援として、久留米市はどのようなことを重点的に進めるべきだと考えますか。(〇は5つまで)

1. 障害者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や教育の充実
2. 障害の種類や程度に応じた障害児保育・教育の充実
3. 市の審議会や委員会等への障害者の参画(登用)
4. 就労支援の充実(働くための訓練や職業紹介、働く場の確保、就労後の指導や支援など)
5. 年金や手当などの充実
6. 公営住宅への障害者優先入居など住宅施策の充実
7. グループホームなどの地域で共同生活できる住まいの整備
8. 機能回復訓練などリハビリテーションの充実
9. 在宅生活を支えるための医療の充実
10. 通院・治療のための医療費の助成
11. ホームヘルプやデイサービス等の在宅サービスの充実
12. ガイドヘルパー等の外出支援サービスの充実
13. 更生施設などの入所できる福祉施設の充実
14. 障害者に対する情報提供や相談窓口の充実
15. 障害者同士や地域の人等と交流ができる場の整備
16. ボランティアの育成と活動支援
17. 文化・スポーツ・レクリエーション等を通じた社会参加の支援
18. 緊急時や災害時の支援体制の充実
19. 障害者にやさしいまちづくりの推進(公共施設や民間施設、公共交通機関、道路等のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化)
20. その他()
21. 特になし

※バリアフリー：バリアフリーとは、バリア(障壁)をなくすという意味です。この場合は、建物内の段差を無くしたり、出入口や廊下の幅を広げたり、障害者や高齢者などが生活しやすい環境をつくるために、支障となる物理的なバリア(障壁)を取り除くことを意味します。

※ユニバーサルデザイン：バリア(障壁)を除去するというバリアフリーの考え方に対して、あらかじめ障害の有無や年齢、性別、入籍等にかかわらず様々な人が利用しやすいように都市や生活環境をデザインするという考え方のことです。

ここからは、障害があるお子さん(18歳未満)のことについて、保護者の方におたずねします。
18歳以上の方は、20ページに進んでください。

問38 お子さんの障害について、どこで診断・判定を受けてはまりましたか(〇は1つだけ)

1. 病院・医院
2. 児童相談所
3. 肢体不自由施設
4. 保健福祉課 児童事務所
5. その他()

問39 お子さんの障害の状況について、診断・判定を受けた頃、ご家族の皆さんには、どんな苦労、悩み、不安がありましたか。(〇は3つまで)

1. 障害のことや福祉の制度についての情報が少なかった
2. 具体的な相談相手がなかった
3. 制度的な検診を早くに実施してほしかった
4. 保健福祉課 児童事務所・病院など専門機関でもっと指導してほしかった
5. 適切な療育施設がほしかった
6. 適切な医療機関がほしかった
7. 子どもの介護・介助の手助けがほしかった
8. 家族が働いているため、仕事上に問題が生じた
9. 医療費に悩んだ
10. その他()
11. 特になし

問40 お子さんの今後の生活や療育、訓練について、どのような希望をお持ちですか。(〇は1つだけ)

1. 家庭から、治療、訓練を受けられる施設に通わせたい
2. 家庭から、治療、訓練を受けられる病院に通わせたい
3. 治療、訓練を受けられる施設に入所させたい
4. 治療、訓練を受けられる病院に入院させたい
5. その他()
6. 特に希望はない

問4-1 お子さんは、現在、日中どのような生活を送っていますか。または、就学されている学校は、次のうちどれにあたりますか。(〇は1つだけ)

未就学	1. 保育園 2. 幼稚園 3. 通園施設 4. その他 () 5. どこにも通わず、自宅にいる
小学校(部)	6. 普通学級 7. 障害児学級 9. 盲学校 10. ろう学校 11. 訪問教育
中学校(部)	12. 普通学級 13. 障害児学級 14. 養護学校 15. 盲学校 16. ろう学校 17. 訪問教育
高校(部)	18. 普通学校 19. 養護学校 20. 盲学校 21. ろう学校
専門学校など	22. 専門学校 23. 職業訓練校 24. その他 ()

問4-2 通学中または卒業(卒園)された方におたずねします。次の(1)～(5)のそれぞれにお答えください。

- (1) 希望通りの学校や園に入学(入園)できましたか。(〇は1つだけ)
1. できた
2. できなかった(理由を具体的に)
- (2) 入学するにあたって何か条件をつけられましたか。(〇は1つだけ)
1. 条件なし
2. 条件あり(条件を具体的に)
- (3) 先生の理解はありますか。(〇は1つだけ)
1. 理解がある
2. まあまあ理解がある
3. 理解がない
- (4) 友達の理解はありますか。(〇は1つだけ)
1. 理解がある
2. まあまあ理解がある
3. 理解がない

(5) 次のような教育に関する要望がありますか。(〇は3つまで)

1. 学校教育におけるノーマライゼーションの推進
2. 本人が希望する学校に入れるなど、個人のニーズに応じた教育
3. 専門知識を持った教職員の加配
4. 職業教育の充実
5. 障害に関する理解向上
6. ことばの教室など通級制度の充実
7. 学校への訪問看護師の派遣
8. 障害児学級の教員配置の見直し
9. 進路指導の充実
10. その他 ()
11. 特になし

問4-3 お子さんを育てていくうえで、困っていることや将来に対する不安、悩みなどはありますか。(〇は3つまで)

1. 教育・学習のこと
2. 交友のこと
3. 経済上の問題
4. 親の死後、子どもの世話をする人がいないこと
5. 親の病気、その他で一時的に子どもをみることでできないこと
6. 自分の時間が持てないこと
7. 自分の健康状態
8. 本人の健康状態
9. 兄弟姉妹の問題
10. 住宅や居室
11. 就職
12. 結婚
13. 社会の無理解
14. 家族の無理解
15. その他 ()
16. 特になし

ご協力ありがとうございました。

障害者福祉について、あなたがお考えになっていることがありましたら、自由にお書きください。

◎この調査票はどなたが回答・記入しましたか。

1. 本人が全部回答または記入した
2. 他人が本人の意思を確認しながら記入した
3. 本人の意思を確認するのは困難であり、他人が回答または記入した
4. その他 ()